

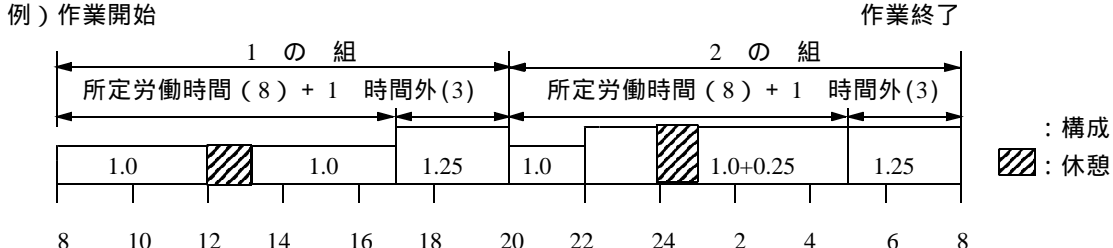
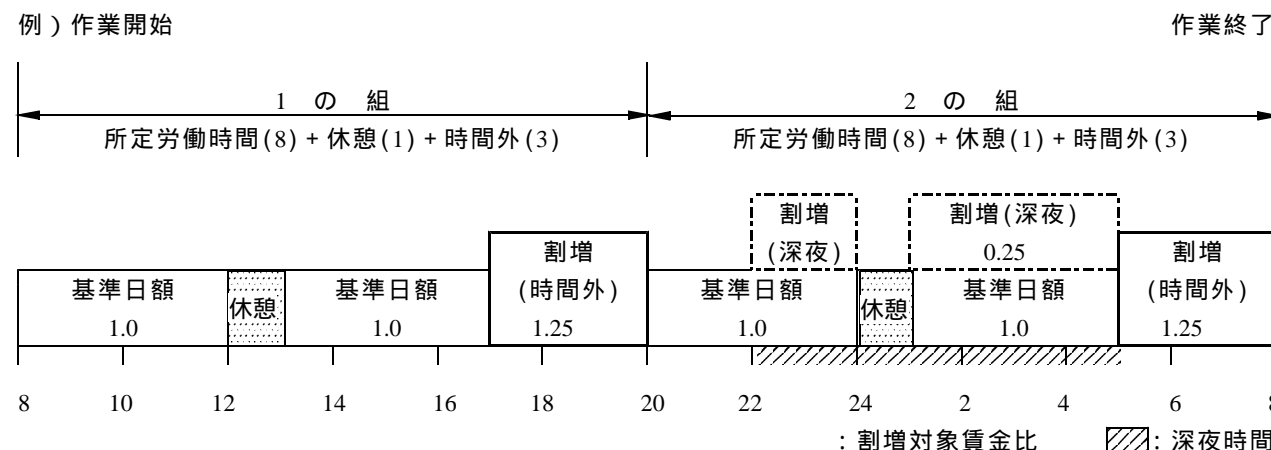
参考資料新旧対照表

改訂内容	地質調査業務の履行期間（必要外業日数）について訂正		
現行基準のページ	現 行	改 訂	摘要
参1-2-3	<p>(3) 地質調査業務の履行期間 地質調査業務の履行期間の算定は次式を参考に決定する。なお、履行期間に端数が生じる場合は小数第1位以下切り上げるものとする。また、各必要日数(W)は小数第3位(小数第4位以下切捨て)まで算出するものとする。</p> $\text{履行期間} = \frac{\text{必要内業日数} \times \text{不稼働係数(内業)}}{(W1)} + \frac{\text{必要外業日数} \times \text{不稼働係数(外業)}}{(W2)} + \text{準備・跡片付け(外業)} + \text{打合せ協議日数} + \text{その他}$ <p>1) 必要内業日数(W1)の算出 地質調査業務の内業については、1業務当り20日を標準とする。</p> <p>2) 必要外業日数(W2)の算出 $W2 = Wa + Wb + Wc + Wd$ 機械ボーリング $Wa = \left(\frac{\text{1箇所当りボーリング長}}{\text{1日当り標準能率}} \right)$ サンプリング $Wb = \text{サンプリング機械の損料日数} \times \text{試料数}$</p>	<p>(3) 地質調査業務の履行期間 地質調査業務の履行期間の算定は次式を参考に決定する。なお、履行期間に端数が生じる場合は小数第1位以下切り上げるものとする。また、各必要日数(W)は小数第3位(小数第4位以下切捨て)まで算出するものとする。</p> $\text{履行期間} = \frac{\text{必要内業日数} \times \text{不稼働係数(内業)}}{(W1)} + \frac{\text{必要外業日数} \times \text{不稼働係数(外業)}}{(W2)} + \text{準備・跡片付け(外業)} + \text{打合せ協議日数} + \text{その他}$ <p>1) 必要内業日数(W1)の算出 地質調査業務の内業については、1業務当り20日を標準とする。</p> <p>2) 必要外業日数(W2)の算出 $W2 = Wa + Wb + Wc + Wd$ 機械ボーリング $Wa = \left(\frac{\text{1箇所当りボーリング長}}{\text{1日当り標準能率}} \right)$ サンプリング $Wb = \left(\frac{\text{試料数}}{\text{1日当り作業量}} \right)$</p>	

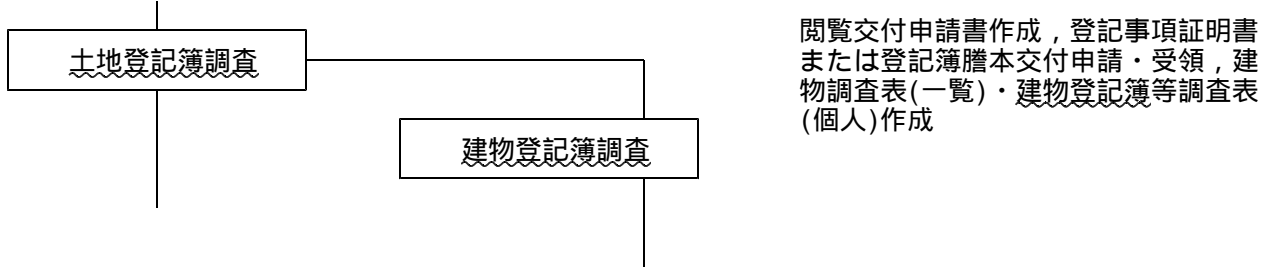
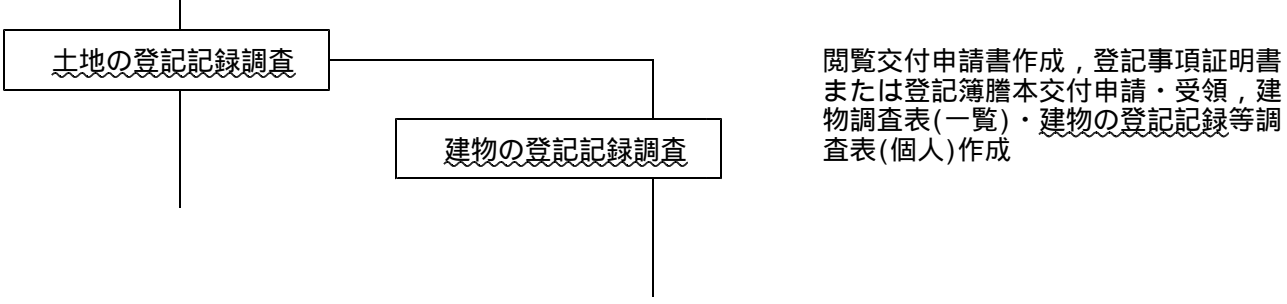
参考資料新旧対照表

改訂内容	・設計業務等の現地踏査及び地質調査時の現地調査における旅費交通費を区別するため、記載内容を追加。																														
現行基準のページ	現 行	改 訂	摘要																												
参1-2-4	<p>1 - 3 旅費交通費</p> <p>1 - 3 - 1 通勤及び宿泊の区分</p> <p>(1) 通勤により業務を行う場合 通勤により業務を行えるかどうかの判断は下記を目安とする。ここでいう積算上の基地とは、原則として指名業者のうち、現地に最も近い本支店等が所在する市役所等とする。なお、随意契約の場合は当該業者が所在する市役所等とする。 また、現地での作業を伴う業務は連絡車（ライトバン）運転、その他の業務については公共交通機関を利用するものとして積算することを標準とする。</p> <p>1) 積算上の基地から現地まで、連絡車（ライトバン）運転によるものとして積算する場合は、積算上の基地から現地までの片道距離が30km程度（高速道路等を利用する場合は片道距離60km程度）もしくは片道所要時間1時間程度とする。 なお、測量業務においては、連絡車（ライトバン）運転費は測量業務標準歩掛の機械経費率等に含まれているため、別途計上しない。</p> <p style="text-align: center;">連絡車（ライトバン）運転費 1日当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="391 856 1406 1083"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>レギュラー</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.6ℓ/h x h</td> </tr> <tr> <td>損 料</td> <td>ライトバン 1.5L</td> <td>h</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>運転時間当り損料</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>供用日当り損料</td> </tr> </tbody> </table> <p>連絡車（ライトバン）運転費には、運転労務費は計上しない。 また、高速道路等の料金は別途計上すること。</p> <p>2) 空中写真測量の場合は、撮影士及び撮影助手の往復交通費は、本拠飛行場から本拠飛行場に最も近い本支店等が所在する市役所までとする。尚、操縦士及び整備士の往復交通費については計上しない。</p> <p>~~~~~</p> <p>(2) 現地に滞在して業務を行う場合 上記(1)の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、各所管の「旅費取扱規則」及び「日額旅費支給規則」によるものとする。 なお、測量業務においては、滞在地から現地までのライトバン運転費は、測量標準歩掛の機械経費率等に含まれているため、別途計上しない。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6ℓ/h x h	損 料	ライトバン 1.5L	h				運転時間当り損料	〃	〃	日	1			供用日当り損料	<p>追加 3) 設計業務等に関する現地踏査、及び地質調査業務に関する現地調査の旅費は、別途考慮する。</p>	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																									
ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6ℓ/h x h																									
損 料	ライトバン 1.5L	h				運転時間当り損料																									
〃	〃	日	1			供用日当り損料																									

参考資料新旧対照表

訂正内容	・技術者基準日額時間外手当の算出例の図を詳細な表現とし修正		
現行基準のページ	現 行	改 正	摘要
参1-2-8	<p>1 - 6 技術者基準日額時間外手当の算出 割増賃金の計上が必要な場合の技術者基準日額(割増賃金を含む総額)の計算例</p> <p>技術者基準日額(総額) = 所定内労働に対する技術者基準日額 + 割増賃金 = 技術者基準日額 + 技術者基準日額 × 割増対象賃金比 × 1 / 8 × 割増係数 × 割増すべき時間数</p> <p>注) 1. 「割増対象賃金比」とは、技術者基準日額に占める「基本給相当額 + 割増の対象となる手当」(割増賃金の基礎となる賃金)の割合である。 2. 割増係数(時間外) = 1.25(通常時間帯以外) 割増係数(深夜) = 0.25(午後 10:00 ~ 翌日午前 5:00)</p> <p>(1) 時間外</p> <p>1) 所定労働時間の 8 時間に加え、2 時間の時間外労働を行う場合(すべて深夜以外の時間帯の場合) 技術者基準日額(総額) = 技術者基準日額 + 技術者基準日額 × 割増対象賃金比 × 1 / 8 × 割増係数(時間外) × 2 時間</p> <p>2) 所定労働時間の 8 時間に加えて 4 時間の時間外労働を行い、うち 2 時間が深夜の時間帯の場合 技術者基準日額(総額) = 技術者基準日額 + 技術者基準日額 × 割増対象賃金比 × 1 / 8 × 割増係数(時間外) × 4 時間 + 技術者基準日額 × 割増対象賃金比 × 1 / 8 × 割増係数(深夜) × 2 時間</p> <p>3) 2 4 時間 2 交替制の場合 1 の組: 技術者基準日額(総額) = 技術者基準日額 + 技術者基準日額 × 割増対象賃金比 × 1/8 × 割増係数(時間外) × 3 時間 2 の組: 技術者基準日額(総額) = 技術者基準日額 + 技術者基準日額 × 割増対象賃金比 × 1/8 × 割増係数(深夜) × 6 時間 + 技術者基準日額 × 割増対象賃金比 × 1/8 × 割増係数(時間外) × 3 時間 技術者基準日額(総額)としては、「1 の組」と「2 の組」の平均値を使用する。</p> <p>例) 作業開始 作業終了</p>  <p>: 構成比 ▨: 休憩</p>	<p>例) 作業開始 作業終了</p>  <p>: 割増対象賃金比 ▨: 深夜時間</p>	

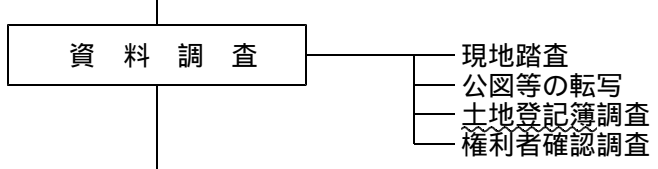
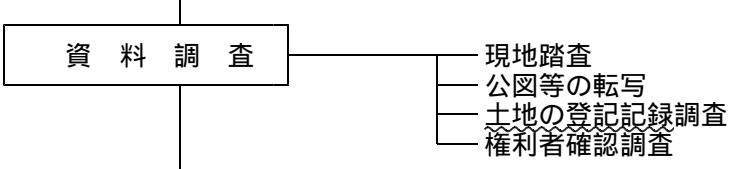
参考資料新旧対照表

改訂内容	不動産登記法の改正による変更		
現行基準のページ	現 行	改 訂	摘要
参2-2-5	<p>第4節 用地測量 4-1 用地測量業務フローチャート</p> 	<p>第4節 用地測量 4-1 用地測量業務フローチャート</p> 	
参2-2-6	<p>備考・建物登記簿調査でその戸数に含まれる建物の定義について 一画の敷地内において一所有者が所有する建物を一戸とする。 この場合、建物登記簿において複数棟になっていても一戸とみなす。</p>	<p>備考・建物の登記記録調査でその戸数に含まれる建物の定義について 一画の敷地内において一所有者が所有する建物を一戸とする。 この場合、建物の登記記録において複数棟になっていても一戸とみなす。</p>	

参考資料新旧対照表

改訂内容	不動産登記法の改正による変更 測量作業規程との整合（面積計算）						
現行基準 のページ	現 行			改 訂			摘要
参2-2-7	4 - 3 成果品一覧表			4 - 3 成果品一覧表			
	業 務 区 分	成 果 品 の 名 称	備 考	業 務 区 分	成 果 品 の 名 称	備 考	
	公 図 等 転 写	公図等転写図	不動産登記法17条地図 法務局備え付け地図	公 図 等 転 写	公図等転写図	不動産登記法14条第1項地図 法務局備え付け地図	
	公図等転写連続図作成	公図等転写連続図	位置関係を整合させた連続地図	公図等転写連続図作成	公図等転写連続図	位置関係を整合させた連続地図	
	土地登記簿調査	土地調査表		土地の登記記録調査	土地調査表		
	建物登記簿調査	建物調査表（一覧） 建物登記簿等調査表		建物の登記記録調査	建物調査表（一覧） 建物の登記記録等調査表		
	権利者確認調査 （当初調査）	権利者調査表 戸籍簿等調査表 法人登記簿又は商業登記簿等調査表	戸籍簿等謄本又は抄本を添付する 登記簿謄本又は抄本を添付する	権利者確認調査 （当初調査）	権利者調査表 戸籍簿等調査表 法人登記簿又は商業登記簿等調査表	戸籍簿等謄本又は抄本を添付する 登記簿謄本又は抄本を添付する	
	権利者確認調査 （追跡調査）	権利者調査表 戸籍簿等調査表 相続関係説明図	戸籍簿謄本又は抄本を添付する	権利者確認調査 （追跡調査）	権利者調査表 戸籍簿等調査表 相続関係説明図	戸籍簿謄本又は抄本を添付する	
	境界確認	立会人名簿 立会依頼通知書		境界確認	立会人名簿 立会依頼通知書		
	土地境界立会確認書作成	土地境界立会確認書		土地境界立会確認書作成	土地境界立会確認書		
	補助基準点の設置	基準点成果表 基準点網図 観測手簿 計算簿 基準点精度管理表 点の記		補助基準点の設置	基準点成果表 基準点網図 観測手簿 計算簿 基準点精度管理表 点の記		
	境界測量	基準点一覧表（使用部分） 境界測量観測手簿		境界測量	基準点一覧表（使用部分） 境界測量観測手簿		
	境界点間測量	境界測量精度管理表		境界点間測量	境界測量精度管理表		
	用地境界仮杭設置	杭設置箇所表示図		用地境界仮杭設置	杭設置箇所表示図		
	用地実測図原図作成	用地実測図原図 用地実測図原図精度管理表 用地平面図 用地平面図精度管理表	ポリエステルフィルム ポリエステルフィルム	用地実測図原図作成	用地実測図原図 用地実測図原図精度管理表 用地平面図 用地平面図精度管理表	ポリエステルフィルム ポリエステルフィルム	
	面積計算	面積計算書 三斜計算書		面積計算	面積計算書 ~~~~~		
	土地調書作成	土地調書		土地調書作成	土地調書		
	復元測量	復元箇所位置図 復元箇所座標又は観測手簿	写真含む	復元測量	復元箇所位置図 復元箇所座標又は観測手簿	写真含む	
	用地境界杭設置	設置位置図 設置位置座標	写真含む 用地境界杭一覧表	用地境界杭設置	設置位置図 設置位置座標	写真含む 用地境界杭一覧表	

参考資料新旧対照表

改訂内容	不動産登記法の改正による変更																																						
現行基準のページ	現 行	改 訂	摘要																																				
参2-2-8	<p>4 - 4 公共用地境界確定協議業務フローチャート</p> 	<p>4 - 4 公共用地境界確定協議業務フローチャート</p> 																																					
参2-2-9	<p>4 - 5 成果品一覧表（公共用地境界確定協議）</p> <table border="1" data-bbox="252 955 1409 1239"> <thead> <tr> <th>業務区分</th> <th>成果品の名称</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現況実測平面図作成</td> <td>現況実測平面図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横断図作成</td> <td>横断図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>依頼書作成</td> <td>公共用地境界確定協議依頼書 転写図 地図の連続図 土地登記簿 位置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協議書作成</td> <td>公共用地境界確定書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>土地境界確認説明記録簿</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	業務区分	成果品の名称	備 考	現況実測平面図作成	現況実測平面図		横断図作成	横断図		依頼書作成	公共用地境界確定協議依頼書 転写図 地図の連続図 土地登記簿 位置図		協議書作成	公共用地境界確定書		その他	土地境界確認説明記録簿		<p>4 - 5 成果品一覧表（公共用地境界確定協議）</p> <table border="1" data-bbox="1528 955 2715 1239"> <thead> <tr> <th>業務区分</th> <th>成果品の名称</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現況実測平面図作成</td> <td>現況実測平面図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横断図作成</td> <td>横断図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>依頼書作成</td> <td>公共用地境界確定協議依頼書 転写図 地図の連続図 土地の登記記録 位置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協議書作成</td> <td>公共用地境界確定書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>土地境界確認説明記録簿</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	業務区分	成果品の名称	備 考	現況実測平面図作成	現況実測平面図		横断図作成	横断図		依頼書作成	公共用地境界確定協議依頼書 転写図 地図の連続図 土地の登記記録 位置図		協議書作成	公共用地境界確定書		その他	土地境界確認説明記録簿		
業務区分	成果品の名称	備 考																																					
現況実測平面図作成	現況実測平面図																																						
横断図作成	横断図																																						
依頼書作成	公共用地境界確定協議依頼書 転写図 地図の連続図 土地登記簿 位置図																																						
協議書作成	公共用地境界確定書																																						
その他	土地境界確認説明記録簿																																						
業務区分	成果品の名称	備 考																																					
現況実測平面図作成	現況実測平面図																																						
横断図作成	横断図																																						
依頼書作成	公共用地境界確定協議依頼書 転写図 地図の連続図 土地の登記記録 位置図																																						
協議書作成	公共用地境界確定書																																						
その他	土地境界確認説明記録簿																																						

参考資料新旧対照表

訂正内容	・作業区分については、体系ツリーと共に通知されており、他の歩掛との横並び、かつ内容も古い（H12）ことから削除する。																																		
現行基準のページ	現 行	改 正	摘要																																
参 4-1-13	<p>4 - 4 落石防護柵詳細設計の作業区分</p> <p>落石防護柵詳細設計の各作業区分における業務内容は以下のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="314 527 1457 1692"> <thead> <tr> <th data-bbox="314 527 522 583">作 業 区 分</th> <th colspan="2" data-bbox="522 527 1457 583">作 業 の 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="314 583 522 695">設 計 計 画</td> <td colspan="2" data-bbox="522 583 1457 695">業務概要，実施方針，業務工程，業務組織計画，打合せ計画等の事項について業務計画書を作成する作業。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="314 695 522 806">現 地 踏 査</td> <td colspan="2" data-bbox="522 695 1457 806">既存法面の検討資料，測量図等の資料を基にした測量内容と範囲，地質状況等を現地で目視により確認し，周辺状況を把握する作業。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="314 806 522 917">設計条件の確認</td> <td colspan="2" data-bbox="522 806 1457 917">既存資料の内容で採用できる事項と詳細設計で決定する事項を整理し，必要な基本事項を検討，決定する作業。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="314 917 522 1192" rowspan="3">設 計 計 算 設 計 図</td> <td data-bbox="522 917 676 1026">詳 細 設 計</td> <td data-bbox="676 917 1457 1026">決定された設計条件により，防護施設について，規模，断面形状，基本寸法等施工に必要な設計を行う作業。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="522 1026 676 1138">付 属 施 設 の 設 計</td> <td data-bbox="676 1026 1457 1138">特記仕様書に基づき付属施設の設計を行う作業。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="522 1138 676 1192">設 計 計 算</td> <td data-bbox="676 1138 1457 1192">防護施設について必要な安定計算，応力計算を行う作業。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="314 1192 522 1360">仮 設 設 計</td> <td colspan="2" data-bbox="522 1192 1457 1360">防護施設の施工方法，施工順序等について，現道交通の切り廻し・道路幅員が狭い・施工スペースがない等の現地条件を考慮し，施工計画書を作成すると共に，必要に応じて仮設設計を行う作業。主には，施工条件，施工方法，施工上の問題点とその整理とする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="314 1360 522 1472">数 量 計 算</td> <td colspan="2" data-bbox="522 1360 1457 1472">詳細設計で作成した設計図に基づき，数量計算書を作成する作業。なお，数量計算書は特記仕様書に示す数量算出要領により工種別，区間別にとりまとめる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="314 1472 522 1583">照 査</td> <td colspan="2" data-bbox="522 1472 1457 1583">既存資料又は，現地踏査による基礎情報の収集等の確認・照査。地形，地質等が設計に反映されているかの照査。主要計画図の照査。設計図，概算工事費の適切性・整合性の照査等の作業。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="314 1583 522 1692">報 告 書 作 成</td> <td colspan="2" data-bbox="522 1583 1457 1692">設計業務成果概要書，設計計算書，設計図面，数量計算書，概算工事費，施工計画書，現地踏査結果等の内容を取りまとめる作業。</td> </tr> </tbody> </table>		作 業 区 分	作 業 の 範 囲		設 計 計 画	業務概要，実施方針，業務工程，業務組織計画，打合せ計画等の事項について業務計画書を作成する作業。		現 地 踏 査	既存法面の検討資料，測量図等の資料を基にした測量内容と範囲，地質状況等を現地で目視により確認し，周辺状況を把握する作業。		設計条件の確認	既存資料の内容で採用できる事項と詳細設計で決定する事項を整理し，必要な基本事項を検討，決定する作業。		設 計 計 算 設 計 図	詳 細 設 計	決定された設計条件により，防護施設について，規模，断面形状，基本寸法等施工に必要な設計を行う作業。	付 属 施 設 の 設 計	特記仕様書に基づき付属施設の設計を行う作業。	設 計 計 算	防護施設について必要な安定計算，応力計算を行う作業。	仮 設 設 計	防護施設の施工方法，施工順序等について，現道交通の切り廻し・道路幅員が狭い・施工スペースがない等の現地条件を考慮し，施工計画書を作成すると共に，必要に応じて仮設設計を行う作業。主には，施工条件，施工方法，施工上の問題点とその整理とする。		数 量 計 算	詳細設計で作成した設計図に基づき，数量計算書を作成する作業。なお，数量計算書は特記仕様書に示す数量算出要領により工種別，区間別にとりまとめる。		照 査	既存資料又は，現地踏査による基礎情報の収集等の確認・照査。地形，地質等が設計に反映されているかの照査。主要計画図の照査。設計図，概算工事費の適切性・整合性の照査等の作業。		報 告 書 作 成	設計業務成果概要書，設計計算書，設計図面，数量計算書，概算工事費，施工計画書，現地踏査結果等の内容を取りまとめる作業。		削 除	
作 業 区 分	作 業 の 範 囲																																		
設 計 計 画	業務概要，実施方針，業務工程，業務組織計画，打合せ計画等の事項について業務計画書を作成する作業。																																		
現 地 踏 査	既存法面の検討資料，測量図等の資料を基にした測量内容と範囲，地質状況等を現地で目視により確認し，周辺状況を把握する作業。																																		
設計条件の確認	既存資料の内容で採用できる事項と詳細設計で決定する事項を整理し，必要な基本事項を検討，決定する作業。																																		
設 計 計 算 設 計 図	詳 細 設 計	決定された設計条件により，防護施設について，規模，断面形状，基本寸法等施工に必要な設計を行う作業。																																	
	付 属 施 設 の 設 計	特記仕様書に基づき付属施設の設計を行う作業。																																	
	設 計 計 算	防護施設について必要な安定計算，応力計算を行う作業。																																	
仮 設 設 計	防護施設の施工方法，施工順序等について，現道交通の切り廻し・道路幅員が狭い・施工スペースがない等の現地条件を考慮し，施工計画書を作成すると共に，必要に応じて仮設設計を行う作業。主には，施工条件，施工方法，施工上の問題点とその整理とする。																																		
数 量 計 算	詳細設計で作成した設計図に基づき，数量計算書を作成する作業。なお，数量計算書は特記仕様書に示す数量算出要領により工種別，区間別にとりまとめる。																																		
照 査	既存資料又は，現地踏査による基礎情報の収集等の確認・照査。地形，地質等が設計に反映されているかの照査。主要計画図の照査。設計図，概算工事費の適切性・整合性の照査等の作業。																																		
報 告 書 作 成	設計業務成果概要書，設計計算書，設計図面，数量計算書，概算工事費，施工計画書，現地踏査結果等の内容を取りまとめる作業。																																		

参考資料新旧対照表

改訂内容	(財)国土開発技術研究センターのプログラムを使用して設計計算及び図化を行う場合の係数であり、現在、プログラムの使用は廃止されているため削除。										
現行基準のページ	現 行	改 訂	摘要								
参4-1-18	2) 斜角, ウイング設計による割増歩掛	2) 斜角, ウイング設計による割増歩掛									
	<p style="text-align: center;">斜角による割増 ウイングによる割増</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;"> A 函渠 B 函渠 $1 \text{ 断面当り歩掛} \times (\boxed{0} + \boxed{0.1}) + \text{標準歩掛} \times (\boxed{0.3} + \boxed{0.6}) \times 0.7 = \text{斜角,ウイング設計による割増歩掛}$ </td> <td style="text-align: center; width: 50%;"> A 函渠 B 函渠 $1 \text{ 断面当り歩掛} \times (\boxed{0} + \boxed{0.1}) + \text{標準歩掛} \times (\boxed{0.3} + \boxed{0.6}) = \text{斜角,ウイング設計による割増歩掛}$ </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 斜角による 増減率 (+10%) </td> <td style="text-align: center;"> 片側の 増減率 (+30%) 両側の 増減率 (+60%) </td> </tr> </table>	A 函渠 B 函渠 $1 \text{ 断面当り歩掛} \times (\boxed{0} + \boxed{0.1}) + \text{標準歩掛} \times (\boxed{0.3} + \boxed{0.6}) \times 0.7 = \text{斜角,ウイング設計による割増歩掛}$	A 函渠 B 函渠 $1 \text{ 断面当り歩掛} \times (\boxed{0} + \boxed{0.1}) + \text{標準歩掛} \times (\boxed{0.3} + \boxed{0.6}) = \text{斜角,ウイング設計による割増歩掛}$	斜角による 増減率 (+10%)	片側の 増減率 (+30%) 両側の 増減率 (+60%)	<p style="text-align: center;">斜角による割増 ウイングによる割増</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;"> A 函渠 B 函渠 $1 \text{ 断面当り歩掛} \times (\boxed{0} + \boxed{0.1}) + \text{標準歩掛} \times (\boxed{0.3} + \boxed{0.6}) = \text{斜角,ウイング設計による割増歩掛}$ </td> <td style="text-align: center; width: 50%;"> A 函渠 B 函渠 $1 \text{ 断面当り歩掛} \times (\boxed{0} + \boxed{0.1}) + \text{標準歩掛} \times (\boxed{0.3} + \boxed{0.6}) = \text{斜角,ウイング設計による割増歩掛}$ </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 斜角による 増減率 (+10%) </td> <td style="text-align: center;"> 片側の 増減率 (+30%) 両側の 増減率 (+60%) </td> </tr> </table>	A 函渠 B 函渠 $1 \text{ 断面当り歩掛} \times (\boxed{0} + \boxed{0.1}) + \text{標準歩掛} \times (\boxed{0.3} + \boxed{0.6}) = \text{斜角,ウイング設計による割増歩掛}$	A 函渠 B 函渠 $1 \text{ 断面当り歩掛} \times (\boxed{0} + \boxed{0.1}) + \text{標準歩掛} \times (\boxed{0.3} + \boxed{0.6}) = \text{斜角,ウイング設計による割増歩掛}$	斜角による 増減率 (+10%)	片側の 増減率 (+30%) 両側の 増減率 (+60%)	
A 函渠 B 函渠 $1 \text{ 断面当り歩掛} \times (\boxed{0} + \boxed{0.1}) + \text{標準歩掛} \times (\boxed{0.3} + \boxed{0.6}) \times 0.7 = \text{斜角,ウイング設計による割増歩掛}$	A 函渠 B 函渠 $1 \text{ 断面当り歩掛} \times (\boxed{0} + \boxed{0.1}) + \text{標準歩掛} \times (\boxed{0.3} + \boxed{0.6}) = \text{斜角,ウイング設計による割増歩掛}$										
斜角による 増減率 (+10%)	片側の 増減率 (+30%) 両側の 増減率 (+60%)										
A 函渠 B 函渠 $1 \text{ 断面当り歩掛} \times (\boxed{0} + \boxed{0.1}) + \text{標準歩掛} \times (\boxed{0.3} + \boxed{0.6}) = \text{斜角,ウイング設計による割増歩掛}$	A 函渠 B 函渠 $1 \text{ 断面当り歩掛} \times (\boxed{0} + \boxed{0.1}) + \text{標準歩掛} \times (\boxed{0.3} + \boxed{0.6}) = \text{斜角,ウイング設計による割増歩掛}$										
斜角による 増減率 (+10%)	片側の 増減率 (+30%) 両側の 増減率 (+60%)										
	3) 箇所数	3) 箇所数									
	$n = \boxed{2}$ (設計断面数)	$n = \boxed{2}$ (設計断面数)									
	4) 設計歩掛 (道路設計に含めて発注するため現地踏査は計上しない。)	4) 設計歩掛 (道路設計に含めて発注するため現地踏査は計上しない。)									
	$\frac{1 \text{ 断面当り歩掛} \times \boxed{2} + \text{斜角, ウイング設計による割増歩掛}}{n} = \text{設計歩掛}$	$\frac{1 \text{ 断面当り歩掛} \times \boxed{2} + \text{斜角, ウイング設計による割増歩掛}}{n} = \text{設計歩掛}$									
	注) 門型ラーメンの場合は、門型ラーメン標準歩掛を使用して、箱形函渠と同様に積算すれば良いが、標準設計がないため、積算例(ケ-ス2), (ケ-ス3)のような条件はない。	注) 門型ラーメンの場合は、門型ラーメン標準歩掛を使用して、箱形函渠と同様に積算すれば良いが、標準設計がないため、積算例(ケ-ス2), (ケ-ス3)のような条件はない。									

参考資料新旧対照表

改訂内容	第9節 河川構造物 護岸詳細設計フローチャートについて、共通仕様書、積算基準書に合わせた語句の修正を行う。		
現行基準のページ	現 行	改 訂	
参4-1-68	<p>第9節 河川構造物設計 9-9-1 護岸設計 9-1-1 護岸詳細設計フローチャート</p> <p>[特記仕様書及び指示事項]</p> <p>貸与資料調査結果 1) 新規調査結果(図書等) 2) 他環境関係(道路・下水道等)</p> <p>提示条件 1) 設計範囲の要旨 2) 設計の基本的タイプと 3) 環境配置計画 4) 基礎設計と施工条件</p> <p>設計対象 1) 特殊クリート擁壁構造の堤防</p> <p>5. 本体設計(軟弱地盤の場合) 1) 土質性状の整理 2) 現況護岸の比較 3) 対策工法の安定計算</p> <p>点線に囲まれた部分(1.08)は、作業内容に準じて、現場状況や、基盤の異なる場合、適用不可を示す。</p>	<p>第9節 河川構造物設計 9-9-1 護岸設計 9-1-1 護岸詳細設計フローチャート</p> <p>[特記仕様書及び指示事項]</p> <p>貸与資料調査結果 1) 新規調査結果(図書等) 2) 他環境関係(道路・下水道等)</p> <p>提示条件 1) 設計範囲の要旨 2) 設計の基本的タイプと 3) 環境配置計画 4) 基礎設計と施工条件</p> <p>設計対象 1) 特殊クリート擁壁構造の堤防</p> <p>5. 本体設計(軟弱地盤の場合) 1) 土質性状の整理 2) 現況護岸の比較 3) 対策工法の安定計算</p> <p>点線に囲まれた部分(1.08)は、作業内容に準じて、現場状況や、基盤の異なる場合、適用不可を示す。</p>	摘要